

多面的機能支払交付金の資源向上活動（長寿命化）実施のポイント

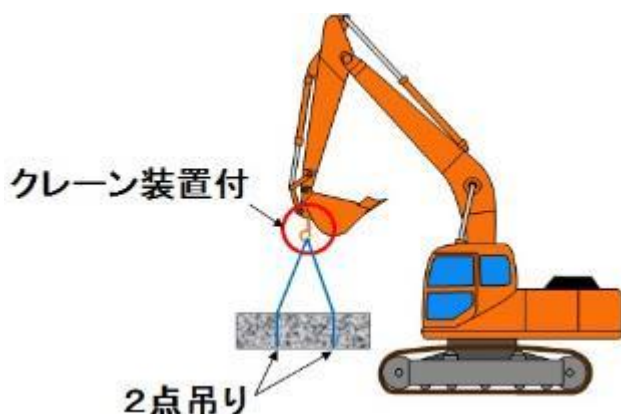
関東農政局土地改良技術事務所保全技術課

資源向上活動（長寿命化）を行うにあたっての主な注意事項をまとめました。参考にしてください。



【安全対策】

- ① 工事中の安全対策として、作業中や監督の際にはヘルメットを被りましょ
う。
- ② バックホーで資材を吊る場合は、クレーン装
置（フック）付きの機種で実施ましょ
う。 また、吊るときは2点吊りとましょ
う。
- ③ 熱中症に注意し、こまめな水分・塩分補給と
休憩をとましょ
う。
- ④ 組織の構成員自らが工事を行うときは、
作業中の事故や怪我に備えて保険に加入ましょ
う。



【契約関係】

- ⑤ 工事を建設会社に外注する場合は、見積（3社以上が望ましい）をとま
しょ
う。 なお、地域の積算基準等もあるので市町村や土地改良区等へ相談
し、地域の積算基準等を参考にましょ
う。
- ⑥ 工事を建設会社に外注する場合は、契約書（変更も含む）と仕様書を作成
して、施設の延長・面積・規格・施工方法を明らかにしておましょ
う。

- ⑦ 工事を建設会社に外注する場合は、工事が完成したら「完成届」「納品書」「請求書」を提出してもらいましょう。

また、工事の完成検査を実施するときは、目視だけではなく、延長や面積などを計測し、「検査調書」を作成しましょう。

- ⑧ 二次製品（フリーフォームなど）や資材（コンクリートなど）を施工に用いた場合には、その材料がどんなものなのか（規格・素材・メーカーなど）を示す資料を残すようにしましょう。

【施工関係】

- ⑨ 水路の脇などは、沈下しないよう十分転圧しましょう。

また、完成後沈下してしまった場合には、土を補充して転圧しておきましょう。

工事実施後の水路



- ⑩ 工事中は、施工状況の写真を撮っておきましょう。

なお、写真は時系列順に、鮮明なものを残すようにします。

また、そのときの作業内容（二次製品布設、など）が書かれていると、見返すときに役立ちます。



【管理関係】

- ⑪ 工事完成後は、「出来形図」を作成しましょう。

工作物の所在、数量（水路の延長や舗装の面積など）、規格などがわかる図面を作成しておきましょう。

- ⑫ 取得した財産がある場合は、財産管理台帳を作成し適切に管理しましょう。

また、市町村等の施設に係る更新工事等により財産を取得した場合は、市町村等に対して譲渡するなどの手続きを行いましょう（手続きの詳細や、実施すべき時期については、多面的機能支払交付金を担当する自治体の方などに確認を取るようになしてください）。

- ⑬ 工事書類は、直接工事をした人以外も分かるよう、

丁寧にまとめるようになしてください。

